

## 取り組み状況(平成30年6月時点)

現在までに、鉄道高架橋建設工事に支障となる九州電力送電線等の各種支障物件の移設工事や、鉄道仮線に必要な土地の確保、及び工事による影響を調べるための周辺建物の事前調査を行ってきました。また、平成23年4月19日から鉄道高架橋建設工事を本格的に開始し、平成26年3月22日には仮線への切替を行いました。  
 今後も、平成32年度の高架切替へ向け、鉄道高架橋建設工事を進捗させていきます。



(春日原市境～春日原駅)  
 高架橋の建設を進めており、線路の両側には高架橋の柱が  
 建ち並んでいます。



(春日原駅周辺)  
 駅部では既設駅舎の解体が進められており、その後順次  
 高架構造物を建設していきます。  
 駅部の南側は高架構造物が建設されていて、引き続き施工  
 を行います。



春日原駅(西側)

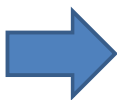


春日原駅(東側)

### 春日原駅 内部解体状況 (平成30年4月撮影)



切替前の春日原駅



内部解体中の状況

(春日原駅)  
 平成30年2月24日に開業した東西仮駅舎(写真上)と以前の駅の解体状況(写真下)です。

以前の駅は橋上駅(線路上に駅舎がある駅)であったため、線路上の解体作業については夜間に行うことも多くなります。夜間作業は、最終電車通過後のき電停止から始発電車運行の停電解除までの3時間、という限られた短い時間の中で慎重に施工が行われています。



**(春日原駅やや南側)**

この区間は先行して高架橋の上部を建設しており、現在の線路の上空に将来の線路が作られるための床版が一部施工されています。



**(春日原駅～白木原駅)**

春日原2号踏切から福岡(天神)方面を見ると、線路の上空に高架橋の上部が建設されており、現在の線路に屋根がかかっているような形になっています。



**(白木原駅)**

仮設ホームに高架構造物の柱が建設されています。春日原駅と同様に夜間施工で作業しているため、仮設ホーム撤去 → 新しい高架構造物の建設 → 仮設ホームの再設置 を繰り返しながら、限られた短い時間の中で施工を行いました。



**(白木原駅～下大利駅)**

仮線切替後、元の線路があった箇所、高架橋の建設を進めています。



**(下大利駅)**

写真右側の壁は、現在供用している仮設の下大利駅です。元の駅舎跡に新駅舎の構造物を順次建設しています。



**(下大利駅～終点)**

下大利1号踏切から事業の終点側です。元の線路を撤去した後、高架橋の建設を進めています。